

研究課題名:ロスバスタチンとマグネシウム製剤の併用時の脂質管理に与える影響

患者さんの医療情報の研究利用について

脂質異常症は、生活習慣病の1つであり、適切な治療によりコレステロール値を是正しなければ、さまざまな心血管イベントをひきおこす原因となります。この脂質異常症の治療薬として、ロスバスタチン(商品名: Crestor)という薬があります。これは体内のコレステロールを生成する酵素を阻害する作用を持つお薬ですが、酸化マグネシウム(商品名: マグミット)などの制酸剤と併用することで、体内での吸収が低下してしまうという報告があります。しかしながら、実際の脂質管理への影響は明らかにされていません。そのため、この研究ではロスバスタチンと制酸剤の併用によって、コレステロール値の改善にどのような影響があるかを検討します。研究対象となるのは、北里大学病院で2010年1月から2014年11月までに、ロスバスタチンを使用している患者さんです。

本研究で調査する項目は、身体所見、診断名、血液検査結果、処方薬の使用状況などで、すべて既存のデータのみとなります。また、これらの情報を分析・保存する上で、全ての患者さんは匿名化され、氏名などの個人情報は一切公表されることはありません。収集したデータは、当院薬剤部で分析され、外部に漏れることのないように厳重に管理されます。

今回の研究で得られた結果は、個人が特定されないかたちで、学会や学術雑誌などに報告されることがあります。本研究の調査対象に該当する患者さんで、調査の参加に同意されない方はお申し出ください。なお、本研究へのご協力はいくらでも患者様の自由意思であり、ご協力いただけない場合でも、患者様に不利益が生じることは一切ございません。本研究に関して、質問などがございましたら、下記の連絡先までご連絡ください。

〒252-0206 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1
北里大学病院 薬剤部

連絡先 ; 042-778-8123

研究責任者 いしだ ゆか
石田有香

研究協力者 こまつとしあき
小松敏彰